

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

アンケート集計結果と分析

○ 配布・回収枚数

配布枚数	回収枚数	未回収枚数	回収率
1,917	577	1,340	30.10%

※「宛て所不在」等で返戻されたアンケートは配布枚数には加えていません。
1,924通発送 返戻7通

【結果】

アンケート企画時の予想回収率…40% ⇒ 結果約30%
約70%の未回収

⇒ 回答しない要因は

- ① 町内に不在住でアンケートが届いていない
- ② 開封していない
- ③ わからないので回答しない
- ④ 無関心
- ⑤ 役場に不信感がある

等の要因が推測されます。

【結果への対応】

この無関心な被保険者が特定健康診査に興味を持つようにする施策が必要です。

設問1 年代

全体…年代集計

	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	不明・回答なし	計
回答者数	54	124	247	146	6	577
割合	9.36%	21.49%	42.81%	25.30%	1.04%	100.00%
配布枚数	234	652	581	450		1,917
回収率	23.08%	19.02%	42.51%	32.44%		30.10%

【結果】

60歳代が全体の回答割合、回収率ともに高くなっています。

⇒ 設問5で「治療中だから」と回答した全161名中72名が60歳代であったことから、自身の健康や健診に対して高い意識を持っている世代だと考えられます。

今後、高齢者となっていく40歳代～50歳代の回収率が低くなっています。

【結果への対応】

40歳代～50歳代の被保険者が特定健康診査に興味を向ける施策が必要です。

20歳代～30歳代への事前の対策も考慮すべきです。

設問2 性別

全体…性別集計

	男性	女性	不明・回答なし	計
回答者数	259	308	10	577
割合	44.89%	53.38%	1.73%	100.00%
配布枚数	989	928		1,917
回収率	26.19%	33.19%		30.10%

【結果】

配布枚数が男性のほうが多いのに、回答数は女性のほうが多く、男女の意識の違いが若干見られます。

⇒ 一方では、男性が女性よりもアンケートの回答を面倒くさがることによる影響も考えられます。

【結果への対応】

男性に自分の健康を考える場を提供する必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問3 職業

全体…職業集計

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	回答なし	計
回答者数	185	4	38	49	171	70	44	16	577
割合	32.06%	0.69%	6.59%	8.49%	29.64%	12.13%	7.63%	2.77%	100.00%

職業に複数の回答があった者については、最初の選択肢のものとしてしました。

その他の内訳

職業名	人数	職業名	人数
自営業・飲食業・サービス業	16	プロゴルファー	1
大工・左官	8	会社員	1
建設・土木業	7	団体職員	1
記載なし	9	不明	1
		計	44

【結果】

無職のほとんどを60歳代(87名)～70歳代(59名 計146名)が占めています。
40歳代～50歳代では、農業者の比率が一番高いものとなっています。

【結果への対応】

農業の団体、商業の団体等に働きかける他、その会合等での周知等が必要と考えられます。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問4 受診回数

全体…受診回数集計

	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	354	126	32	35	30	577
割合	61.35%	21.84%	5.55%	6.07%	5.20%	100.00%

【結果】

特定健康診査、人間ドックとも圧倒的に3年間未受診の方が多く結果となりました。
 回答者数の約5分の1が1回と回答していることより、健診を繰り返し受診しない傾向があるようです。
 3回と回答している方が35名いらっしゃるの、町の特定健康診査、人間ドック以外の健診を受診している方がいるようです。

【結果への対応】

未受診の方には受診するよう働きかける必要があります。
 健診のリピーターとなるような施策が必要です。
 他の健診を受診している方の受診データを取得する方策が必要です。

年代別…受診回数集計

年代	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
40代	37	10	1	5	1	54
割合	68.52%	18.52%	1.85%	9.26%	1.85%	100.00%
50代	94	19	3	5	3	124
割合	75.81%	15.32%	2.42%	4.03%	2.42%	100.00%
60代	152	53	12	16	14	247
割合	61.54%	21.46%	4.86%	6.48%	5.67%	100.00%
70代	71	44	16	9	6	146
割合	48.63%	30.14%	10.96%	6.16%	4.11%	100.00%
世代不明	0	0	0	0	6	6
割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%

【結果】

50歳代の未受診者が非常に多い結果となっています。
 70歳代では、受診した率が一番高くなっています。
 全世代を通じて、受診された方は1回の回答が多く、再受診することが少ないことがわかります。

【結果への対応】

50歳代の方に重点的に勧奨を行う必要があります。

性別…受診回数集計

性別	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
男性	174	46	17	15	7	259
割合	67.18%	17.76%	6.56%	5.79%	2.70%	100.00%
女性	178	79	15	19	17	308
割合	57.79%	25.65%	4.87%	6.17%	5.52%	100.00%
性別不明	2	1	0	1	6	10
割合	20.00%	10.00%	0.00%	10.00%	60.00%	100.00%

【結果】

男女別では、受診した割合は女性が高くなっていますが、リピート(2~3回受診)については、ほぼ同じ割合となっています。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

職業別…受診回数集計

職業	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
農業	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	113	49	5	12	6	185
割合	61.08%	26.49%	2.70%	6.49%	3.24%	100.00%
林業	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	2	0	0	1	1	4
割合	50.00%	0.00%	0.00%	25.00%	25.00%	100.00%
商業	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	25	11	0	2	0	38
割合	65.79%	28.95%	0.00%	5.26%	0.00%	100.00%
パート	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	31	12	1	3	2	49
割合	63.27%	24.49%	2.04%	6.12%	4.08%	100.00%
無職	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	108	30	15	9	9	171
割合	63.16%	17.54%	8.77%	5.26%	5.26%	100.00%
専業主婦	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	37	19	8	4	2	70
割合	52.86%	27.14%	11.43%	5.71%	2.86%	100.00%
その他	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	38	5	3	4	10	60
割合	63.33%	8.33%	5.00%	6.67%	16.67%	100.00%
不明	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	38	5	3	4	10	60
割合	63.33%	8.33%	5.00%	6.67%	16.67%	100.00%

【結果】

職業別では、標本数の少ないもの意外では未受診の方が約3分の2いることとなりました。
専業主婦は、未受診者が約半数となっており、他の職業と比べると僅かながら健診への意識が高いことがわかります。

治療中…受診回数集計

	0回	1回	2回	3回	不明・回答なし	計
回答者数	117	21	6	5	12	161
割合	72.67%	13.04%	3.73%	3.11%	7.45%	100.00%

【結果】

治療中の方は、未受診回数の割合が高くなっています。

【結果への対応】

治療中の方は他の検査を受けている可能性が高いですが、特定健康診査の全項目やアンケートがないために、治療中でも特定健康診査を受診していただくよう周知していく必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 受診しない理由(複数回答あり。)

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
1 治療中だから	161	18.30%	27.90%
2 心配な時はいつでも病院に行けるから	130	14.77%	22.53%
3 健康だから	95	10.80%	16.46%
4 面倒だから	85	9.66%	14.73%
5 日時が合わないから	74	8.41%	12.82%
6 自己負担があるから	64	7.27%	11.09%
7 毎年受ける必要性を感じないから	57	6.48%	9.88%
8 待たされるから	53	6.02%	9.19%
9 健診結果が怖いから	50	5.68%	8.67%
10 健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから	6	0.68%	1.04%
11 申込方法や連絡先が不明(煩雑)だから	13	1.48%	2.25%
12 結果に対するフォロー(指導)が不十分だから	11	1.25%	1.91%
13 知らなかったから	12	1.36%	2.08%
14 健診項目が減ったから	5	0.57%	0.87%
15 その他()	64	7.27%	11.09%
16 回答なし	95		

その他の内訳

理由	人数	理由	人数
他の検査を受けているから	35	金銭的に健診・治療を受けることができない	1
会社の健康診断があるから	8	定まった年齢ではないから	1
記載なし	4	会社の勤務とドッグの指定日が合わないので不安	1
忘れていた	3	2/28までと勘違いしていたから	1
町内不在	2	無駄だと思う。自分の知っていることしかいわない。	1
たまたま受診しなかった	2	牛がいるから	1
1年おきにドックを受診している	1		
胃カメラが嫌	1		
医療ミスがあったから	1		
時間的余裕がない	1		

【結果】

アンケートは通常、選択肢の順によって回答率が変わるものであり、選択肢の10番目からは回答数が減っています。

この設問については、選択肢ごとに記載します。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢1「治療中だから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
治療中だから	161	18.30%	27.90%

治療中…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	8	7.02%	1.39%	14.81%
50代	27	12.22%	4.68%	21.77%
60代	72	20.17%	12.48%	30.77%
70代	54	28.88%	9.36%	36.99%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	161	100.00%	27.90%	27.90%

治療中…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	80	49.69%	30.89%
女性	80	49.69%	25.97%
不明・回答なし	1	0.62%	10.00%
計	161	100.00%	27.90%

治療中…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	回答なし	計
回答者数	46	2	10	6	61	26	6	4	161
割合	28.57%	1.24%	6.21%	3.73%	37.89%	16.15%	3.73%	2.48%	100.00%
職業別回答者数との割合	24.86%	50.00%	26.32%	12.24%	35.67%	37.14%	13.64%	25.00%	100.00%

治療中の職業農業…年代

年代	農業	無職	小計	当該年代回答者数との割合	他の職業	総計
40代	4	4	8	100.00%	0	8
50代	4	5	9	33.33%	18	27
60代	16	30	46	63.89%	26	72
70代	22	22	44	81.48%	10	54
年代不明	0	0	0		0	0
計	46	61	107	66.46%	54	161

治療中の50歳代…職業集計

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	4	0	4	2	5	7	4	1	27
割合	14.81%	0.00%	14.81%	7.41%	18.52%	25.93%	14.81%	3.70%	100.00%

【選択肢の意味】

治療中でも特定健診の対象者となっていますので、特定健診を受診する必要があります。治療中であるから特定健康診査を受診しないでよとしている状況を把握するために、この選択肢を設定しました。

【結果】

「治療中だから」が最も回答数が多く、回答者の約4分の1の回答がありました。

年代別の集計を見ますと高齢になるごとに割合が高くなっています。

性別ではほとんど回答数には差異がありませんが、男性のほうが性別の対象者数との割合では若干高くなっています。

職業別では無職、農業の方で約3分の2を占めますが、その両者の標本の年代を見ますと8割以上が60歳以上の者となっています。また、林業、専業主婦の回答割合が非常に高くなっています。

どの世代でも農業、無職の両者の占める割合が高くなっていますが、50歳代だけは例外で、専業主婦が最も多くなっています。

【結果への対応】

治療中であることにより特定健康診査を受診しないでよいという考えから特定健康診査も受診しないとイケないという意識をしていく方策が必要です。

また、医師等から「治療中であれば特定健診を受診しなくともよい」と言われるケースが多々あるようですので、西諸医師会を通じて医師への理解を深める必要があります。

設問5 選択肢2 「心配な時はいつでも病院に行けるから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
心配な時はいつでも病院に行けるから	130	14.77%	22.53%

いつでも病院…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	14	10.77%	2.43%	25.93%
50代	25	19.23%	4.33%	20.16%
60代	50	38.46%	8.67%	21.37%
70代	41	31.54%	7.11%	28.08%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	130	100.00%	22.53%	22.53%

いつでも病院…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	51	39.23%	19.69%
女性	79	60.77%	25.65%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	130	100.00%	22.53%

いつでも病院…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	42	0	7	8	40	19	14	14	130
割合	32.31%	0.00%	5.38%	6.15%	30.77%	14.62%	10.77%	10.77%	100.00%
職業別回答者数との割合	22.70%	0.00%	18.42%	16.33%	23.39%	27.14%	31.82%	87.50%	100.00%

【選択肢の意味】

疾病を発症してから医療機関で治療等をすることは、医療費の高騰を招く大きな要因です。この選択肢を選択した者については、早急に意識改革を行う必要があります。この意識を持つ者がどのくらいいらっしゃるのかを把握するために、この設問を設定しました。

【結果】

「心配な時はいつでも病院に行けるから」が「治療中だから」の次に回答数が多く、回答者の約5分の1の回答がありました。

年代別の年代別回答者数との割合では、70代、40代、60代、50代の順となっています。標本数の多い50代、60代の数値が低くなっていますが、70代は特に数値が高く、医療機関への依存意識の高さが伺えます。

性別では、標本数が圧倒的に女性が多い状況ですが、性別回答者数との割合を見ますと男性19.69%、女性25.65%の差となっています。女性のほうが男性より医療機関への依存度が高いと言えるのでしょうか。

職業別では無職、農業の方で約3分の2を占めています。また、その他、職業不明の回答割合が非常に高くなっています。

医師不足、医療不足と言われてはいますが、町内には国保高原病院、川井田医院、小林市、都城市と生活圏内に医療機関が多数あることにより医療機関が身近にあるという概念があるようです。

【結果への対応】

発症してから医療機関に行けば良いとして健診による自己管理、予防医療の概念がない方が非常に多く、早急に意識改革を行う方策が必要です。

他の設問での「案内・周知方法の改善」での媒体指定が、ハガキ、封書の個人的に通知するものが、回覧文書、ホームページ、町広報紙などの広報媒体を圧倒的に上回ったように個人的に通知する他、他の健康部門(福祉、衛生、介護、社会教育)と一体となった健康座談会等も考えなければなりません。

設問5 選択肢3「健康だから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
健康だから	95	10.80%	16.46%

健康だから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	15	15.79%	2.60%	27.78%
50代	26	27.37%	4.51%	20.97%
60代	34	35.79%	5.89%	14.53%
70代	20	21.05%	3.47%	13.70%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	95	100.00%	16.46%	16.46%

健康だから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	49	51.58%	18.92%
女性	45	47.37%	14.61%
不明・回答なし	1	1.05%	10.00%
計	95	100.00%	16.46%

健康だから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	38	0	2	6	28	10	9	2	95
割合	40.00%	0.00%	2.11%	6.32%	29.47%	10.53%	9.47%	2.11%	100.00%
職業別回答者数との割合	20.54%	0.00%	5.26%	12.24%	16.37%	14.29%	20.45%	12.50%	100.00%

【選択肢の意味】

前の設問と同様に「健康だから」として健診を受けずに、いざ疾病を発症してから医療機関で治療等を行うことは、医療費の高騰を招く大きな要因です。この選択肢を選択した者については、早急に意識改革を行う必要があります。この意識を持つ者がどのくらいいらっしゃるのかを把握するために、この設問を設定しました。

【結果】

「治療中だから」、「心配な時はいつでも病院に行けるから」の次に回答数が多く、回答者の約6分の1の回答がありました。

年代別の年代別回答者数との割合では、若年層ほど割合が高くなっています。もちろん「治療中だから」の回答とは反比例しています。

性別では、標本数、性別回答者数との割合において、ともに男性のほうが高く、男性のほうがこの意識が高いようです。

職業別では無職、農業の方で70%を占めています。農業、その他などの自営業の被保険者の割合が高くなっています。

【結果への対応】

健診による疾病の発見、疾病予防などが確立している現在において、健診を受診せずに自身が健康であると判断することから、健診を受診するよう意識改革を行う必要があります。

特に、若年層ほど自身を健康だと判断している割合が高く、若年層を中心に対策を講じる必要があります。また、対象年齢よりも若い世代に対して事前の啓発を進める必要があります。

また、他の設問で回答割合の高い無職(退職等が多いのではないかと考えられます。)の割合が低く、自営業の被保険者の割合が高いのは、自営業者の健診を受診する習慣があまりないということと考えられますので、自営業者に対する対策…自営業者の団体等を通じた…を講じなければなりません。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢4「面倒だから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
面倒だから	85	9.66%	14.73%

面倒だから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	18	21.18%	3.12%	33.33%
50代	27	31.76%	4.68%	21.77%
60代	32	37.65%	5.55%	13.68%
70代	8	9.41%	1.39%	5.48%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	85	100.00%	14.73%	14.73%

面倒だから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	44	51.76%	16.99%
女性	40	47.06%	12.99%
不明・回答なし	1	1.18%	10.00%
計	85	100.00%	14.73%

面倒だから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	32	1	10	9	20	7	5	1	85
割合	37.65%	1.18%	11.76%	10.59%	23.53%	8.24%	5.88%	1.18%	100.00%
職業別回答者数との割合	17.30%	25.00%	26.32%	18.37%	11.70%	10.00%	11.36%	6.25%	100.00%

【選択肢の意味】

特定健診は通常、絶食の後に医療機関や健診会場に赴き、受付等の手続き、アンケートへの回答などを行い、採血、尿検査、問診などがあり検査項目の割に面倒であると考えている声をよく聞きますので、この設問を設定しました。

【結果】

回答者の約7分の1の回答がありました。

年代別の年代別回答者数との割合では、若年層ほど割合が高くなっています。

性別では、標本数、性別回答者数との割合ともに男性のほうが高く、男性のほうがこの意識が高いようです。

職業別では無職、農業の方で60%を占めています。農業、商業などの自営業の被保険者の割合が高くなっています。

【結果への対応】

この「面倒だから」という概念を変えることは非常に困難であり、「健診を必ず受診しなければならない」という意識を醸成していく必要があります。

特に、若年層ほど自身を健康だと判断している割合が高く、若年層を中心に対策を講じる必要があります。

また、自営業者に健診受診の意識醸成を図る必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢5「日時が合わないから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
日時が合わないから	74	8.41%	12.82%

日時が合わないから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	13	17.57%	2.25%	24.07%
50代	28	37.84%	4.85%	22.58%
60代	27	36.49%	4.68%	11.54%
70代	6	8.11%	1.04%	4.11%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	74	100.00%	12.82%	12.82%

日時が合わないから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	41	55.41%	15.83%
女性	33	44.59%	10.71%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	74	100.00%	12.82%

日時が合わないから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	25	1	13	7	8	5	12	3	74
割合	33.78%	1.35%	17.57%	9.46%	10.81%	6.76%	16.22%	4.05%	100.00%
職業別回答者数との割合	13.51%	25.00%	34.21%	14.29%	4.68%	7.14%	27.27%	18.75%	100.00%

【選択肢の意味】

自営業の多い国保被保険者は、早朝から働いていることが多く、また、兼業農家の場合に月曜日～土曜日に勤務して健診を受ける時間がないことが想定されますので、この設問を設定しました。

【結果】

回答者の約8分の1の回答がありました。

年代別の年代別回答者数との割合では、若年層ほど割合が高くなっています。

性別では、標本数、性別回答者数との割合においてともに男性のほうが高く、男性のほうがこの理由が高いようです。

職業別では無職、専業主婦の割合が低くなっており、商業、その他の自営業の方の割合が高くなっています。農業の割合が高くなく、職業の種別に酪農などの早朝から働く選択肢を設けておいたほうが良かったと思われます。

【結果への対応】

後の設問(曜日、時間帯)と関連しますが、日曜の健診、夜間の健診の実施を検討する必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢6 「自己負担があるから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
自己負担があるから	64	7.27%	11.09%

自己負担があるから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	10	15.63%	1.73%	18.52%
50代	15	23.44%	2.60%	12.10%
60代	32	50.00%	5.55%	13.68%
70代	7	10.94%	1.21%	4.79%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	64	100.00%	11.09%	11.09%

自己負担があるから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	29	45.31%	11.20%
女性	35	54.69%	11.36%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	64	100.00%	11.09%

自己負担があるから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	14	1	4	7	24	7	6	1	64
割合	21.88%	1.56%	6.25%	10.94%	37.50%	10.94%	9.38%	1.56%	100.00%
職業別回答者数との割合	7.57%	25.00%	10.53%	14.29%	14.04%	10.00%	13.64%	6.25%	100.00%

【選択肢の意味】

平成23年度に特定健康診査の自己負担額を全て無料とし、受診券の配布時、町広報等でお知らせしてきましたが、どれくらい認知されているかを把握するためにこの設問を設定しました。但し、簡易人間ドック(自己負担額5,000円)やがん健診などの自己負担額に対して回答してくる被保険者もいることは想定されます。

【結果】

回答者の約9分の1の回答がありました。
 年代別の年代別回答者数との割合では、若年層のほうが割合が高くなっています。
 男女の回答割合にはあまり差異がありません。
 職業別では標本数の少ない林業が25%となっている他、農業の方の割合が低くなっています。

【結果への対応】

簡易人間ドックなどの自己負担額に対して回答してきた被保険者がどのくらいいるかは不明ですが、約9人に1人が特定健康診査に費用が必要であるとしている状況ですので、特定健康診査は無料で受診できることを大きくPRしていく必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢7「毎年受ける必要性を感じないから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
毎年受ける必要性を感じないから	57	6.48%	9.88%

毎年受ける必要性を感じないから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	8	14.04%	1.39%	14.81%
50代	13	22.81%	2.25%	10.48%
60代	21	36.84%	3.64%	8.97%
70代	15	26.32%	2.60%	10.27%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	57	100.00%	9.88%	9.88%

毎年受ける必要性を感じないから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	29	50.88%	11.20%
女性	28	49.12%	9.09%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	57	100.00%	9.88%

毎年受ける必要性を感じないから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	27	0	3	4	13	7	1	2	57
割合	47.37%	0.00%	5.26%	7.02%	22.81%	12.28%	1.75%	3.51%	100.00%
職業別回答者数との割合	14.59%	0.00%	7.89%	8.16%	7.60%	10.00%	2.27%	12.50%	100.00%

【選択肢の意味】

特定健康診査は毎年受診してこそ意義があるのですが、そう考えていない被保険者がどのくらいいるのかを把握するためにこの設問を設定しました。

【結果】

回答者の約10分の1の回答がありました。

年代別の年代別回答者数との割合では、60歳代が低く、40歳代が高くなっています。

性別では、標本数、性別回答者数との割合をともに男性のほうが高く、男性のほうがこの理由が高いようです。

職業別では農業の方の割合が高くなっています。

【結果への対応】

特定健康診査を受診する意識の醸成とともに健診を毎年受診する意識についても同じような措置が必要です。

簡易人間ドックや特定健康診査を隔年で受診している被保険者を抽出して、その方たちに対し受診しない年度に積極的に受診勧奨していくなどの方策が必要です。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢8「待たされるから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
待たされるから	53	6.02%	9.19%

待たされるから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	8	15.09%	1.39%	14.81%
50代	18	33.96%	3.12%	14.52%
60代	18	33.96%	3.12%	7.69%
70代	9	16.98%	1.56%	6.16%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	53	100.00%	9.19%	9.19%

待たされるから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	28	52.83%	10.81%
女性	24	45.28%	7.79%
不明・回答なし	1	1.89%	10.00%
計	53	100.00%	9.19%

待たされるから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	17	2	3	3	16	7	4	1	53
割合	32.08%	3.77%	5.66%	5.66%	30.19%	13.21%	7.55%	1.89%	100.00%
職業別回答者数との割合	9.19%	50.00%	7.89%	6.12%	9.36%	10.00%	9.09%	6.25%	100.00%

【選択肢の意味】

医療機関での待ち時間、集団健診での待ち時間については、大きな不満があることを耳にしていたのでこの選択肢を設定し、状況を把握することとしました。

【結果】

回答者の約11分の1の回答がありました。

年代別の年代別回答者数との割合では、若年層が高くなっています。

性別では、標本数、性別回答者数との割合においてともに男性のほうが高く、男性のほうがこの理由が高いようです。

職業別では標本数の少ない林業の他の職業ではほぼ均衡した数値となっています。

【結果への対応】

待ち時間があるから特定健康診査を受診しないのは、多忙である方はもちろん理由として挙げるものがありますが、自身の健康よりも時間が大切である概念から、健診を受けることによるメリットを認識させることが必要です。

医療機関での受診、集団健診ではどうしても待ち時間がありますので、集団健診については、時間を区切った指定をするなどの対応などを考慮する必要があります。

医療機関での受診については、事前に医療機関に被保険者が連絡するようにしていますので、時間指定があると考えられますが、総じて早朝の健診となりますので、他の患者などと医師の間診の時間が重なることについては現在のところ方策がありません。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢9「健診結果が怖いから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
健診結果が怖いから	50	5.68%	8.67%

健診結果が怖いから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	6	12.00%	1.04%	11.11%
50代	15	30.00%	2.60%	12.10%
60代	22	44.00%	3.81%	9.40%
70代	7	14.00%	1.21%	4.79%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	50	100.00%	8.67%	8.67%

健診結果が怖いから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	11	20.75%	4.25%
女性	39	73.58%	12.66%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	50	100.00%	8.67%

健診結果が怖いから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	19	0	5	5	12	7	1	1	50
割合	38.00%	0.00%	10.00%	10.00%	24.00%	14.00%	2.00%	2.00%	100.00%
職業別回答者数との割合	10.27%	0.00%	13.16%	10.20%	7.02%	10.00%	2.27%	6.25%	100.00%

【選択肢の意味】

健診を受けた結果、疾病であったり、その傾向があることがわかることを怖がり、特定健康診査を受診しない被保険者については、健診を受診しないことにより、疾病を発症したり、悪化させたりしている大きなリスクがあることを早急に認識させる必要があるために、この意識により健診を受診しない被保険者がどのくらいいるのかを把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

50名の回答がありました。
 年代別の年代別回答者数との割合では、若年層が高くなっています。
 性別では、圧倒的に女性の割合が高くなっています。
 職業別ではほぼ均衡した数値となっています。

【結果への対応】

他の選択肢と同様に健診を受診するよう意識改革を図る方策が必要です。
 女性の回答割合が男性より高いのですが、男性がこの選択肢を「男として選択できない」としたことも考えられます。しかしながら女性に特化した方策についても考慮すべきです。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢10 「健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから	6	0.68%	1.04%

健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	2	33.33%	0.35%	3.70%
50代	1	16.67%	0.17%	0.81%
60代	3	50.00%	0.52%	1.28%
70代	0	0.00%	0.00%	0.00%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	6	100.00%	1.04%	1.04%

健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	4	66.67%	1.54%
女性	2	33.33%	0.65%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	6	100.00%	1.04%

健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	6	0	0	0	0	0	0	0	6
割合	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
職業別回答者数との割合	3.24%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%

【選択肢の意味】

議会の常任委員会などで、交通弱者の方もいらっしゃるのでは地区に赴いて健診を行うべきだという意見がありましたので、健診会場へのアクセスや現在の会場の設備等に不満がある方がどれくらいいるのかを把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

6名の回答がありました。回答数が多くなるのではないかと考えられましたが、74歳までの方ですので、交通弱者もが少なくなったと考えられます。後期の健康診査では全く別の結果となる可能性はあります。

設問6の「最寄の受診会場」については41名の回答があり、不満には思っていないが、近くの会場にすれば、受診しやすくなると考えていらっしゃる被保険者は多いようです。

回答した6名の受診回数は、0回4名、2回1名、3回1名となっており、受診される被保険者でもアクセス、又は会場の設備に不満がある方がいらっしゃいます。

標本数が極小ですが、性別では、男性の割合が高くなっています。
職業別では全て農業の方となっています。

【結果への対応】

後期高齢者医療の健康診査の受診率対策のために地区(各小学校区)別に集団健診を行うことを検討する必要がありますので、実施の場合には、特定健康診査も併せて行うことができます。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢11「申込方法や連絡先が不明(煩雑)だから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
申込方法や連絡先が不明(煩雑)だから	13	1.48%	2.25%

申込方法や連絡先が不明(煩雑)だから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	3	23.08%	0.52%	5.56%
50代	6	46.15%	1.04%	4.84%
60代	4	30.77%	0.69%	1.71%
70代	0	0.00%	0.00%	0.00%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	13	100.00%	2.25%	2.25%

申込方法や連絡先が不明(煩雑)だから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	8	61.54%	3.09%
女性	5	38.46%	1.62%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	13	100.00%	2.25%

申込方法や連絡先が不明(煩雑)だから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	6	0	0	1	3	1	2	0	13
割合	46.15%	0.00%	0.00%	7.69%	23.08%	7.69%	15.38%	0.00%	100.00%
職業別回答者数との割合	3.24%	0.00%	0.00%	2.04%	1.75%	1.43%	4.55%	0.00%	100.00%

【選択肢の意味】

特定健康診査の申込方法や連絡先については、受診券の配布時に説明文書を同封するなどしてお知らせしています。お知らせしているにも関わらず、この理由の方がどのくらいいるのかを把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

13名の回答がありました。
年代別では若年層が、性別では男性の割合が、職業別では農業の被保険者の割合が多い結果となりました。

【結果への対応】

更にわかり易い説明文書を配布することとします。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢12 「結果に対するフォロー(指導)が不十分だから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
結果に対するフォロー(指導)が不十分だから	11	1.25%	1.91%

結果に対するフォロー(指導)が不十分だから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	1	9.09%	0.17%	1.85%
50代	4	36.36%	0.69%	3.23%
60代	4	36.36%	0.69%	1.71%
70代	2	18.18%	0.35%	1.37%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	11	100.00%	1.91%	1.91%

結果に対するフォロー(指導)が不十分だから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	6	54.55%	2.32%
女性	5	45.45%	1.62%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	11	100.00%	1.91%

結果に対するフォロー(指導)が不十分だから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	1	0	0	1	4	2	3	0	11
割合	9.09%	0.00%	0.00%	9.09%	36.36%	18.18%	27.27%	0.00%	100.00%
職業別回答者数との割合	0.54%	0.00%	0.00%	2.04%	2.34%	2.86%	6.82%	0.00%	100.00%

【選択肢の意味】

特定健康診査の後に指導が必要な被保険者には特定保健指導を実施しています。健診結果のフォローに不満がある被保険者がどのくらいいらっしゃるのかを把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

11名の回答がありました。

11名の受診回数の内訳は0回7名、1回3名、3回1名となっており、受診のない者が多く、特定健康診査以前の健診等を受けた後のフォローがなかったことに対する不満となっていることが想定されます。

【結果への対応】

特定健康診査を受診して指導が必要な場合には、特定保健指導を行うことをPRする必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢13 「知らなかったから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
知らなかったから	12	1.36%	2.08%

知らなかったから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	5	41.67%	0.87%	9.26%
50代	4	33.33%	0.69%	3.23%
60代	3	25.00%	0.52%	1.28%
70代	0	0.00%	0.00%	0.00%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	12	100.00%	2.08%	2.08%

知らなかったから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	6	50.00%	2.32%
女性	6	50.00%	1.95%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	12	100.00%	2.08%

知らなかったから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	7	0	0	0	4	0	1	0	12
割合	58.33%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%	8.33%	0.00%	100.00%
職業別回答者数との割合	3.78%	0.00%	0.00%	0.00%	2.34%	0.00%	2.27%	0.00%	100.00%

【選択肢の意味】

特定健康診査の受診券は個人毎に郵送で送付していますし、広報等で特定健康診査をPRしていますが、特定健康診査のことを知らないと思っている被保険者がどのくらいいるのかを把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

12名の回答がありました。

【結果への対応】

特定健康診査のPR、受診券の配布時の方法等に工夫をしていく必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢14「健診項目が減ったから」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
健診項目が減ったから	5	0.57%	0.87%

健診項目が減ったから…年代

年代	回答者数	割合	総回答者数との割合	年代別回答者数との割合
40代	0	0.00%	0.00%	0.00%
50代	1	20.00%	0.17%	0.81%
60代	3	60.00%	0.52%	1.28%
70代	1	20.00%	0.17%	0.68%
年代不明	0	0.00%	0.00%	0.00%
計	5	100.00%	0.87%	0.87%

健診項目が減ったから…性別

	回答者数	割合	性別回答者数との割合
男性	3	60.00%	1.16%
女性	2	40.00%	0.65%
不明・回答なし	0	0.00%	0.00%
計	5	100.00%	0.87%

健診項目が減ったから…職業

	農業	林業	商業	パートなど	無職	専業主婦	その他	職業不明	計
回答者数	1	0	0	1	1	1	1	0	5
割合	20.00%	0.00%	0.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	0.00%	100.00%
職業別回答者数との割合	0.54%	0.00%	0.00%	2.04%	0.58%	1.43%	2.27%	0.00%	100.00%

【選択肢の意味】

基本健康診査と特定健康診査では検査項目が廃止されたもの、追加されたもの両者がありますが、基本健康診査時との比較で健診項目が減少したと考えて不満に感じている被保険者がどのくらいいるのかを把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

5名の回答がありました。

5名中、設問6で他の健診と同時受診をするよう回答していた者が4名いるように、特定健康診査の検査項目だけでは、健診に魅力を感じていない被保険者がいらっしゃるようになります。

【結果への対応】

この選択肢について、直接の対応は行う必要はありませんが、他のがん検診等の同時受診や費用補助などを考慮していく必要があります。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問5 選択肢15「その他」

全体…受診しない理由

理由	回答者数	割合	総回答者数との割合
その他()	64	7.27%	11.09%

その他の内訳

理由	人数	理由	人数
他の検査を受けているから	35	金銭的に健診・治療を受けることができない	1
会社の健康診断があるから	8	定まった年齢ではないから	1
記載なし	4	会社の勤務とドッグの指定日が合わないので不安	1
忘れていた	3	2/28までと勘違いしていたから	1
町内不在	2	無駄だと思う。自分の知っていることしかいわない。	1
たまたま受診しなかった	2	牛がいるから	1
1年おきにドックを受診している	1		
胃カメラが嫌	1		
医療ミスがあったから	1		
時間的余裕がない	1		

【選択肢の意味】

選択肢に挙げなかった理由を把握するためにこの選択肢を設定しました。

【結果】

64件の回答がありました。

他の検査を受けている或いは会社の健康診断があると回答した者がほとんどです。

胃カメラと医療ミス(内容は大腸カメラの後に出血が続いたというもの)の回答は、アンケート回収初日に返送されたもので、健診等への意識が高い被保険者だと思われます。

【結果への対応】

「他の検査を受けているから」については、5-1に記載しています。

会社の健康診断を受けている被保険者については、その検査結果を提供していただく方策が必要です。

設問6 受診しやすい条件(複数回答あり。)

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
1 費用負担の軽減	171	20.38%	29.64%
2 他の検診(がん検診等)との同時受診	170	20.26%	29.46%
3 健診時間の短縮	87	10.37%	15.08%
4 土曜・日曜の受診	83	9.89%	14.38%
5 健診項目の充実	35	4.17%	6.07%
6 最寄りの健診会場	41	4.89%	7.11%
7 申し込みの簡便化	42	5.01%	7.28%
8 夜間の受診	23	2.74%	3.99%
9 健診後のフォロー(保健指導の充実)	31	3.69%	5.37%
10 案内・周知方法の改善	143	17.04%	24.78%
11 その他	13	1.55%	2.25%
12 回答なし	138		23.92%

その他の内訳

条件	人数
なし	7
受診しない人が多いのは…	1
治療中なので必要なし	1
生活保護による治療しかない	1
車イスで自由に動けるところ	1
意味不明	1
病気について他人と会話をする	1
計	13

同時受診する健診の希望

検診種類	胃	大腸	肺	子宮	乳	前立腺	指定なし
人数	76	74	51	40	34	42	27

周知方法の改善の媒体

方法	はがき	手紙	メール	HP	広報	回覧	指定なし
人数	66	36	1	1	10	30	4

設問6 選択肢1 費用負担の軽減

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
費用負担の軽減	171	20.38%	29.64%

【結果】

費用負担の軽減を行うとの回答が最も多く、171名の回答がありました。
 特定健康診査は平成23年度から全員無料としており、回答の内訳の多くは①特定健康診査を無料と知らない者、②人間ドックに対しての者、③他の健診を含めての費用負担の軽減(この選択肢と「他の健診との同時受診」を同時に回答した者が53名)に分かれると考えられます。

【結果への対応】

特定健康診査については、無料であることを大きくPRしていく必要があります。
 簡易人間ドックについては、現在の補助を継続します。
 他の健診については、町費で約7割の補助が出ていますが、国保被保険者については追加の補助を検討していきます。

設問6 選択肢2 他の検診(がん検診等)との同時受診

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
他の検診(がん検診等)との同時受診	170	20.26%	29.46%

同時受診する健診の希望

検診種類	胃	大腸	肺	子宮	乳	前立腺	指定なし
人数	76	74	51	40	34	42	27

【結果】

他の健診との同時受診との回答も多く、170名の回答がありました。
胃、大腸と性別固有の健診は複数回答となっているものが多くなっています。

【結果への対応】

現在、集団健診では同時受診できるようにしています。各医療機関でも健診の対応が可能であれば受診できます。健康増進法の関係で補助が出ますので、集団健診でのPR、個別健診でも同時受診についてPRしていく必要があります。

設問6 選択肢3 健診時間の短縮

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
健診時間の短縮	87	10.37%	15.08%

【結果】

健診時間の短縮についても回答者の15%が回答しました。

【結果への対応】

設問5選択肢8の「待たされるから」と同内容。

設問6 選択肢4 土曜・日曜の受診

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
土曜・日曜の受診	83	9.89%	14.38%

【結果】

土曜・日曜の受診については83名の被保険者が回答しています。

【結果への対応】

土曜の受診については、医療機関では受診が可能ですが、高原病院に問い合わせたところ土曜日は半日の診療となっていますので、待ち時間が長くなることもあり、月曜日から金曜日の受診を勧めています。

後期医療の健康診査と併せて、日曜日での受診を検討していく必要があります。

設問6 選択肢5 健診項目の充実

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
健診項目の充実	35	4.17%	6.07%

【結果】

健診項目の充実には35名が回答し、選択肢2の同時受診と合わせた回答者が20名います。

【結果への対応】

特定健康診査は生活習慣病などの因子であるメタボリック・シンドローム着目である健診であることを理解していただき、他の健診を同時受診するよう勧奨していく必要があります。

設問6 選択肢6 最寄りの健診会場

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
最寄りの健診会場	41	4.89%	7.11%

【結果】

最寄りの健診会場と回答した被保険者が41名となっています。

【結果への対応】

設問5選択肢10「健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから」に記載。

設問6 選択肢7 申し込みの簡便化

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
申し込みの簡便化	42	5.01%	7.28%

【結果】

申し込みの簡便化と回答した被保険者が42名となっています。

回答者は60歳代が回答数が多いのですが、年代毎の回答者数との割合はほぼ均衡しています。

【結果への対応】

現在、集団健診については、区長経由で回覧文書を配布し、申し込み用紙による申し込み、電話での申し込みで対応しており、各医療機関では電話での申し込みを行っています。集団健診の電話での申し込みを知らない被保険者がいることなどが想定されますので、案内文書の工夫をすることや、他の団体が行っています健診の希望調査の導入を検討していく必要があります。

なお、ホームページからの申し込みについては、周知方法の改善でホームページを選択した被保険者が僅か1名だったこと、本人でない申し込みのいたずら等が懸念されますので、現在のところ実施しないこととします。

設問6 選択肢8 夜間の受診

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
夜間の受診	23	2.74%	3.99%

【結果】

夜間の受診と回答した被保険者が23名と、設問8で都合の良い時間帯を夜間帯と回答した41名と差異が出ており、健診は夜間にはできないものと考えている方がある程度いらっしゃるようです。

【結果への対応】

夜間の受診については、被保険者に10時間の絶食をしていただくか、空腹時血糖値とヘモグロビンA1Cの関連で不可能ではないですが、医療機関や集団健診の委託先の対応をお願いした場合に大きな費用が発生しますので、高原病院の夕暮れ診療などの利用を呼びかける方策などが必要です。

設問6 選択肢9 健診後のフォロー(保健指導の充実)

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
健診後のフォロー(保健指導の充実)	31	3.69%	5.37%

【結果】

健診後のフォローと回答した被保険者が31名となっています。

【結果への対応】

設問5選択肢12「結果に対するフォロー(指導)が不十分だから」に記載。

設問6 選択肢10 案内・周知方法の改善

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
案内・周知方法の改善	143	17.04%	24.78%

周知方法の改善の媒体

方法	はがき	手紙	メール	HP	広報	回覧	指定なし
人数	66	36	1	1	10	30	4

【結果】

周知方法の改善として、143名の回答があり、媒体としてハガキ、手紙、回覧での通知・広報の数が高くなっています。

【結果への対応】

受診券と同封して特定健康診査のお知らせをしており、集団健診については回覧文書でしていますので、町広報誌での広報も行っています。よって、受診勧奨をハガキで行うことや、前述しました健診の希望調査を行うなどの方策が必要です。

ホームページやメールを媒体とした周知方法については、ほとんど選択されませんでした。今後は、登録すれば役場からのお知らせを一斉送信するシステムづくりなどを全庁的に考えていかなければなりません。

設問6 選択肢11 その他

条件	回答者数	割合	総回答者数との割合
その他	13	1.55%	2.25%

その他の内訳

条件	人数
なし	7
受診しない人が多いのは…	1
治療中なので必要なし	1
生活保護による治療しかない	1
車イスで自由に動ける場所	1
意味不明	1
病気について他人と会話をする	1
計	13

【結果】

その他については、13名が回答しましたが、その内容について名が記載していませんでした。

【結果への対応】

健診受診の意識や受診会場などの他に「病気について他人と会話する」という回答がありましたが、自分でいろんなことに取り組むよりも集団で健康や健診について話せたり、予防のための運動などをする場を作っていくことを支援していく方策が必要です。

国民健康保険保健事業アンケート集計・結果分析

設問7 曜日(複数回答あり。)

	月	火	水	木	金	土	日	回答なし	計
回答者数	93	89	103	75	64	101	124	178	827
割合	11.25%	10.76%	12.45%	9.07%	7.74%	12.21%	14.99%	21.52%	100.00%

【結果】

土曜日、日曜日の医療機関が休診である曜日への希望が多いほか、水曜日の回答が多い結果となりました。

【結果への対応】

集団健診は水曜日を中心にして、休日の健診も検討しなければなりません。

設問8 時間帯(複数回答あり。)

	午前	午後	夜間帯	回答なし	計
回答者数	316	122	41	116	595
割合	53.11%	20.50%	6.89%	19.50%	100.00%

【結果】

午前中の回答が圧倒的に多い結果となりました。

【結果への対応】

略。

設問9 健診会場(複数回答あり。)

	ほほえみ館	地区公民館	医療機関	JA支所	その他	回答なし	計
回答者数	102	79	310	10	5	107	613
割合	16.64%	12.89%	50.57%	1.63%	0.82%	17.46%	100.00%

その他…団地前1件、記載なし4件

【結果】

医療機関の回答が圧倒的に多く、ほほえみ館が続いています。

地区公民館やJA支所のように地区訪問を希望する被保険者は以外と少ない結果となりました。

設問5で「治療中だから」と回答された被保険者で当設問を回答されたほとんどの方が医療機関と回答したように医療機関が身近である被保険者が多いようです。

【結果への対応】

設問5選択肢10「健診会場に問題(アクセスや施設面)があるから」に記載。